

平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社構造計画研究所

コード番号 4748 URL <http://www.kke.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 服部 正太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 湯口 達夫

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

TEL 03-5342-1141

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	1,642	37.5	△153	—	△164	—	△109	—
25年6月期第1四半期	1,195	24.7	△381	—	△396	—	△239	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	△19.73	—
25年6月期第1四半期	△41.76	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年6月期第1四半期	10,269		3,473		33.8	
25年6月期	9,807		3,680		37.5	

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 3,473百万円 25年6月期 3,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	0.00	—	20.00 ～30.00	20.00 ～30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期1Q	6,106,000 株	25年6月期	6,106,000 株
② 期末自己株式数	26年6月期1Q	567,128 株	25年6月期	592,128 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期1Q	5,530,572 株	25年6月期1Q	5,729,294 株

(注) 従業員持株会支援信託ESOPが保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項.....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(持分法損益等) .....	8
4. 補足情報 .....	8
生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、現政権が掲げる経済政策及び日銀の金融緩和に対する期待感から、円高が緩和され、景気は輸出業が牽引する形で持ち直し、個人の消費マインドも強まるなど、回復基調にありました。しかしながら、税制改正による景気の腰折れ懸念や、落ち着きを取り戻しつつある欧米経済の一方で中国経済の成長ペースが鈍化している点など、楽観視できない状況にあります。

当社の対面業界におきましても、先行きの不透明さや復興需要の一服など、生産や設備投資の抑制を余儀なくされつつある模様ですが、税制改正に伴う設備更新投資需要が高まりつつあるほか、安心・安全ソリューションや付加価値の高いソリューションに対する需要は引き続き高い水準で推移しております。

このような経営環境の中において、当社は、創業理念の趣旨を堅持しつつ、より発展した理念として「大学、研究機関と実業界をブリッジする Professional Design & Engineering Firm」を掲げ、当社の組織に蓄積されてきた「組織知」に加え、大学・研究機関と共同研究の中で培った「学問知」、顧客・アライアンス企業との協業の中で培った「経験知」を融合し、生み出された「工学知（エンジニアリング）」を使って、今後の震災復興活動や「次世代の社会構築（デザイン）」の促進に貢献できるような努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は16億42百万円（前年同四半期比4億47百万円増）、営業損失は1億53百万円（前年同四半期比2億27百万円損失減）、経常損失は1億64百万円（前年同四半期比2億32百万円損失減）、四半期純損失は1億9百万円（前年同四半期比1億30百万円損失減）となり、いずれの指標も前年同四半期に比べ改善しております。

なお、当社では、多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末にかけて、成果品の引き渡しが集中することから、第1四半期累計期間に占める売上高の割合は極めて低い水準となる傾向があります。当第1四半期累計期間の損失は、かかる季節変動による影響であります。

当第1四半期累計期間の報告セグメント別の状況は、次のとおりであります。なお、当社では社内に蓄積されている幾つもの要素技術と経験を顧客の課題に合わせて組み合わせ、創出された解決策をソリューションとして提供しております。

以下の3セグメントがシナジーを発揮することにより、より付加価値の高いサービスや製品を創出することが、当社の事業特性となっております。各報告セグメントに関しては、3. (3) 四半期財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）のⅡ当第1四半期累計期間（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）もご参照ください。

#### 【エンジニアリングコンサルティング】

当第1四半期累計期間においては、ネットワーク関連のコンサルティング業務、建築構造計算業務支援のためのコンサルティング業務が好調に推移したことに加え、防災関連のコンサルティング業務、安心・安全な社会構築を支援するコンサルティング業務も堅調に推移いたしました。この結果、エンジニアリングコンサルティング事業における当第1四半期累計期間の売上高は4億57百万円（前年同四半期比1億69百万円増）、セグメント損失は5百万円（前年同四半期比1億3百万円損失減）となりました。

#### 【システムソリューション】

当第1四半期累計期間においては、大手住宅メーカー向け構造計算システムが好調に推移したことに加え、住宅設備メーカー向けシステムや、大手通信事業者向けシステムなどの開発業務が堅調に推移いたしました。この結果、システムソリューション事業における当第1四半期累計期間の売上高は6億83百万円（前年同四半期比1億7百万円増）、セグメント利益は96百万円（前年同四半期比89百万円増）となりました。

#### 【プロダクツサービス】

当第1四半期累計期間においては、製造業向けCAEソフト、ネットワーク通信シミュレータ、建築構造解析プログラムなどの販売が好調に推移いたしました。この結果、プロダクツサービス事業における当第1四半期累計期間の売上高は5億1百万円（前年同四半期比1億70百万円増）、セグメント利益は81百万円（前年同四半期比52百万円増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて17.6%増加し、32億59百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が1億11百万円、仕掛品が2億83百万円増加したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて0.4%減少し、70億10百万円となりました。これは、主に建物が17百万円、ソフトウェアが19百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて4.7%増加し、102億69百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて18.3%増加し、48億81百万円となりました。これは、主に短期借入金が15億円増加する一方、未払費用が3億26百万円、その他に含まれる未払法人税等が3億52百万円減少したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて4.2%減少し、19億15百万円となりました。これは、主に長期借入金が94百万円減少する一方、退職給付引当金が12百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて10.9%増加し、67億96百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて5.6%減少し、34億73百万円となりました。これは、主に利益剰余金が2億24百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済は、現政権により実施された経済政策及び金融政策などにより回復基調にあるものの、税制改正による景気の腰折れ懸念や、中国経済をはじめとする新興国経済の成長ペースが鈍化している点など、楽観視できない状況にあります。

当社の対面業界におきましても、先行き不透明な状況は否めず、当社を取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあります。当社では①品質管理のより一層の向上による強固な収益構造の構築、②独自技術の提供により高収益を確保できるエンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大、③大学・研究機関との共同研究及び独自技術を持つ国内外企業とのアライアンスを含む経営資源の拡充に努めることで、高い顧客満足度と付加価値の向上に努めてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	380,316	369,931
受取手形及び売掛金	1,257,407	1,368,633
半製品	2,176	2,974
仕掛品	431,310	714,505
前渡金	43,055	44,094
前払費用	342,625	431,140
その他	362,540	374,422
貸倒引当金	△47,595	△46,504
流動資産合計	2,771,836	3,259,198
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,920,854	1,903,784
土地	3,558,650	3,558,650
その他(純額)	103,959	97,560
有形固定資産合計	5,583,464	5,559,995
無形固定資産		
ソフトウェア	386,030	366,724
その他	12,893	13,097
無形固定資産合計	398,923	379,821
投資その他の資産		
投資有価証券	104,249	104,431
その他	993,933	1,011,387
貸倒引当金	△44,838	△44,838
投資その他の資産合計	1,053,343	1,070,980
固定資産合計	7,035,731	7,010,797
資産合計	9,807,568	10,269,996
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	271,711	215,364
短期借入金	1,290,000	2,790,000
1年内返済予定の長期借入金	610,000	465,000
未払金	220,702	208,019
未払費用	430,539	104,523
前受金	761,306	827,583
賞与引当金	—	118,871
受注損失引当金	5,806	3,793
その他	537,241	148,450
流動負債合計	4,127,307	4,881,606

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	609,420	514,720
退職給付引当金	1,310,500	1,323,398
役員退職慰労引当金	40,000	40,000
資産除去債務	15,452	15,533
その他	24,491	21,471
<b>固定負債合計</b>	<b>1,999,863</b>	<b>1,915,123</b>
<b>負債合計</b>	<b>6,127,171</b>	<b>6,796,729</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,041,464	1,041,464
利益剰余金	2,165,952	1,941,029
自己株式	△542,799	△525,122
<b>株主資本合計</b>	<b>3,674,818</b>	<b>3,467,571</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>5,578</b>	<b>5,695</b>
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>5,578</b>	<b>5,695</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,680,396</b>	<b>3,473,267</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>9,807,568</b>	<b>10,269,996</b>

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,195,027	1,642,869
売上原価	766,180	944,377
売上総利益	428,846	698,491
販売費及び一般管理費	810,170	851,843
営業損失(△)	△381,323	△153,351
営業外収益		
受取利息	8	52
保険事務手数料	300	283
為替差益	683	—
貸倒引当金戻入額	187	437
その他	573	420
営業外収益合計	1,752	1,195
営業外費用		
支払利息	14,849	10,294
関係会社出資運用損	968	115
その他	1,319	2,068
営業外費用合計	17,136	12,479
経常損失(△)	△396,708	△164,635
特別損失		
固定資産除却損	40	—
特別損失合計	40	—
税引前四半期純損失(△)	△396,748	△164,635
法人税、住民税及び事業税	2,265	2,265
法人税等調整額	△159,755	△57,800
法人税等合計	△157,489	△55,534
四半期純損失(△)	△239,258	△109,101



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上 額(注2)
	エンジニア リングコン サルティン グ	システム ソリューシ ョン	プロダクツ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	287,944	575,785	331,297	1,195,027	—	1,195,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	287,944	575,785	331,297	1,195,027	—	1,195,027
セグメント利益又は損失(△)	△108,679	7,327	29,270	△72,081	△309,241	△381,323

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△309,241千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上 額(注2)
	エンジニア リングコン サルティン グ	システム ソリューシ ョン	プロダクツ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	457,698	683,219	501,950	1,642,869	—	1,642,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	457,698	683,219	501,950	1,642,869	—	1,642,869
セグメント利益又は損失(△)	△5,504	96,750	81,884	173,129	△326,481	△153,351

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△326,481千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年9月30日)
関連会社に対する投資の金額	200,005千円	200,005千円
持分法を適用した場合の投資の金額	199,798千円	199,139千円
	前第1四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の金額	—千円	△658千円

#### 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

##### (1) 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	438,394	106.0
システムソリューション	522,901	121.2
プロダクツサービス	268,290	116.6
合計	1,229,586	114.4

- (注) 1 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### (2) 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	941,584	93.9	2,411,637	103.5
システムソリューション	1,598,250	166.1	2,307,754	131.8
プロダクツサービス	430,882	108.2	792,443	136.9
合計	2,970,717	125.7	5,511,834	118.2

- (注) 1 金額は販売価額によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### (3) 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	457,698	159.0
システムソリューション	683,219	118.7
プロダクツサービス	501,950	151.5
合計	1,642,869	137.5

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。